

朝明中学校通信 第 21 号	和 学 鍛	令和 4 年 3 月 7 日 発行：朝明中学校長
------------------------------	--------------	--

三寒四温を繰り返し、晴れと雨となごり雪が入れ替わりながら、春がやってきました。

3月の第1週は、いつもより静かにそして優しく時間が流れる気がします。

朝、車のラジオからユーミンの『卒業写真』が流れ出し、「もうそんな季節なんだなあ」としみじみ思いました。この歌も卒業式シーズンの定番になっていますが、私（校長）が中学時代によく聴いた歌で、自分の卒業式を思い出しながら、歳月の重みを感じています。

ここ近年ではレミオロメンの『3月9日』などもよく耳にしておなじみになっていますが、この曲なども今年の卒業生のみなさんが生まれる前にリリースされたので、今ではもう昔の歌なのかも知れません。そして、今年の3月9日は県立高校後期選抜の日、その関係もあり、四日市市立中学校の卒業式は昨年よりも1日早い3月7日（月）になりました。

いつまでも『和』『学』『鍛』

3年生のみなさん、卒業おめでとう！

また、保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。立派に成長されたお子さまの姿に、振り返れば感慨もひとしおのことと思います。お子さまの声に耳を傾け、時に励まし、時に応援しながら、温かなまなざしで見守り続けていただいたご苦勞に敬意を表しますとともに、いつも本校の教育にご理解やご支援、ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。



ここ2年間は、学校生活にも大きな制約を強いられ、思うように事が進まなかったこともありました。ひとつひとつの行事をこなすたびに、胸をなでおろした日々。そんな中でも確かな達成感と大きな感動を残してくれました。どんなときにも仲間とともに、明るく前向きに学校生活を送ることができました。卒業に際してみなさんが書いてくれたメッセージを読んでいると、本当に胸が熱くなりました。

3年生のみなさんは、この学校通信のタイトルにもなっています、「和」「学」「鍛」の校訓のもと、3年間、朝明中学校で、勉強や運動に、学校行事や部活動に、仲間とともに歩んできました。それら一つ一つの経験や様々な人との関わりを通して得たものは、これからの人生で必ず大きな糧となることでしょう。

本紙前号でも紹介しました、昭和を代表する俳人の山口誓子作詞の朝明中校歌にも、この校訓が刻み込まれています。そして、この校歌も歌い継がれて今年で65年になると聞きます。まさに、歴史と伝統を感じます。

みなさんが歌っている歌詞は古い書き言葉（文語調）のために、今の話し言葉（口語調）にした歌詞に多少の解釈を添えて、あらためて紹介します。

1 朝明川 流れゆるくて 低き丘 つづきしたがう あゝここに 吾等は**和**む

朝明川は、ゆったりと低い丘をぬって流れているよ

ああ ここ（朝明中）に集った^{つど}私たちは、

（友情をはぐくみ、この朝明川の流れるように）心和やかにいこう

2 平津山 諸木茂りて しずけさの うちにこもれる あゝここに 吾等は**学**ぶ

平津山は、木が生い茂った静かな森におおわれているよ

ああ ここ（朝明中）に集った^{つど}私たちは、

（仲間とともに、この平津山の木々のようにたくましく）学ぼう

3 ひらけたる 土に立ち出で いや広き 空をいただく あゝここに 吾等は**鍛**う

開かれた大地に立って見渡せば、頭上高く広大な空が広がっているよ

ああ ここ（朝明中）に集った^{つど}私たちは、

（この開かれた大地をしっかりと踏みしめ、輝く未来に向けて心も体も）鍛えよう

朝明川、平津山の近景からスケール大きく、まさに明るい未来へ力強く踏み出すかのような印象を与える3番のフレーズへ。その中に見事にちりばめられた「和」「学」「鍛」。



この3年間でみなさんの心に刻まれた「和」「学」「鍛」、母校朝明中の素晴らしいこの校訓、そして校歌をいつまでもいくつになっても忘れることなく、あふれんばかりの希望を胸に、はるかな行く道を歩んでいってください。